

施策3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります

10年後のめざす姿

- ・地域や団体・NPO、事業者等と区が連携し、子どもや高齢者、障がい者、外国人を対象とする支えあいの取り組みが幅広く展開されています。
- ・地域の中で外国人が日本語を学ぶ場や交流の機会があり、外国人と区民との相互交流が盛んに行われています。

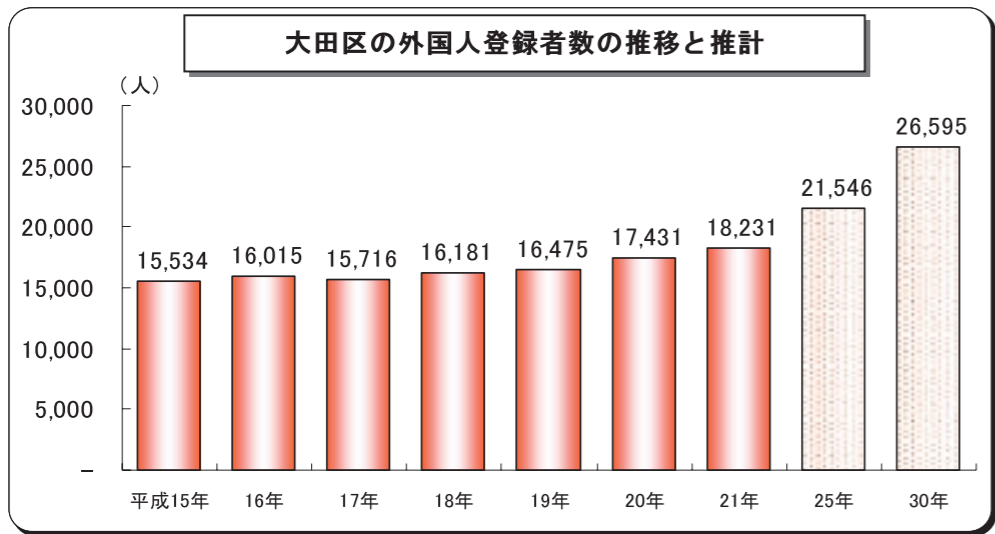
↓

施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
ボランティア活動に参加している区民の割合 (%)	8.9% (平成18年度)	15%	30%
「大田区が暮らしやすい」と回答した外国人の区民の割合 (%)	-	60%	70%

現状と課題

- 障がいの有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、一人ひとりがその個性と能力を發揮し、自己実現を図っていく「共生」への取り組みが必要
- 暮らしやすい地域社会の実現には、ユニバーサルデザインの視点が不可欠
- 「暮らしやすいまち」と感じている区民の3割が、その理由を「地域への愛着」と回答。人と人とのつながりを強めることが暮らしやすい地域づくりには不可欠
- 空港の国際化により、ビジネスや観光などで区を訪れる外国人が増加、地域との関わりも深まることが予想される。外国人支援体制を強化し、地域の中で多文化共生の社会づくりが積極的に展開される仕組みが必要



出典：大田区の数字、大田区政ファイル（各年1/1現在、平成25年・30年は推計）

施策の方向性と主な事業

① 子ども が健やかに育つ地域づくり

- ・学校を位置づける
- ・保護者町会、ながら育みと

地域力を高めるための重要な拠点とけをはじめ、地域住民や自治会・事業者、活動団体などと協力し、地域で子どもたちの健やかな安全・安心を支援

③ 障がい 者の暮らしを支える地域づくり

- ・地域の
- ・団体や連携にワーク

支え手であるボランティアの育成NPO、事業者等の民間機関とのよる障がい者を支えるネットの構築

② 高齢者の安心を支える地域づくり

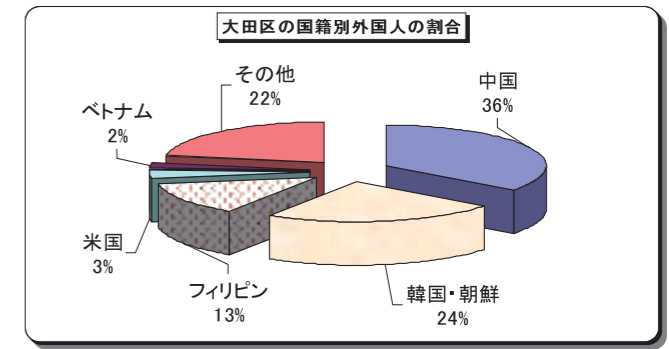
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の孤立化を防止
- ・地域のつながりを活かした取り組みによる安心して生活できる環境づくり



子どもの安全・安心を守る活動

④ 外国 人が安心して暮らせる地域づくり

- ・近隣住けるネットワークづくりを活性化させるため、交流拠点の設置や日本語学習教室・交流会のほか、日常生活に必要な地域情報・相談窓口など総合的な支援を推進
- ・区民に多文化推進



出典：大田区政ファイル（平成20年1/1現在）

(仮称)多文化共生推進プランの策定・実施

- ◇区内施策実施
- ◇プランの策定過程において、区民や関係団体意見交換などを実施

(仮称)多文化共生推進センターの整備

- ◇交流機能のため
- ・学習機会の提供や、身近な相談などを備えた多文化共生施策を推進するの施設を設置

外国人のための日本語教室の充実

- ◇学習者のニーズに対応した日本語教室を実施するため、ボランティア団体と連携した人材育成事業の実施や学習機会を提供

身近な暮らし情報の発信

- ◇外国人が地域で安心して生活するうえで必要な地域情報、身近な生活情報を提供する仕組みを構築

施策3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます

10年後のめざす姿

- ・ 様々な分野の文化活動団体が、区内で活発に活動しています。
- ・ 地域の伝統・文化行事に子どもから高齢者まで幅広い世代の人が参加しています。



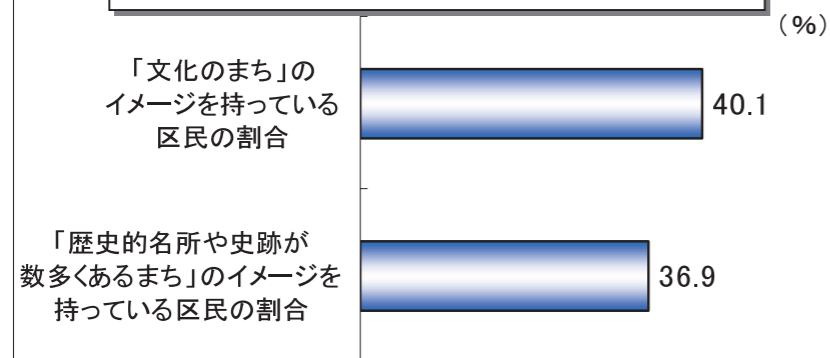
施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
大田区主な文化関連施設の利用・入館者数(延べ、万人)	144 万人 (平成19年度)	150 万人	155 万人
大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出品した人数(延べ、人)	3,203 人	4,000 人	4,500 人

現状と課題

- 大田区区民活動データベース登録の団体のうち約3割が「学術・文化・芸術・スポーツ」に取り組むなど、区民の文化・芸術に対する意識は高い
- 団塊の世代の退職期を迎え、今後、文化活動を行う区民や団体が増加していくことが見込まれ、区民の文化活動に対する更なる支援が必要
- 運動会やお祭りなど、自治会や町会の行事は、参加者の減少や固定化などに伴い、運営の工夫が必要
- 子どもから大人まで幅広い世代が、地域で交流することの重要性を再認識し、世代を超えた地域のふれあいづくりに取り組んでいくことが必要

「大田区のイメージ」に関する区民の意識



出典：「大田区の観光に関する基本調査報告書」（平成20年8月）



施策の方向性と主な事業

① 地域文化の創造と発信

- ・ 心に潤文化財参加を
 - ・ 馬込文まちな発信事
- いや豊かさを感じる生活や地域社会を築くために、の保護や、鑑賞を含めた身近な文化・芸術活動への促進し、大田区文化の創造と発信を推進
土村をはじめ地域の文化的資源や、歴史、みなど、地域の特色を活かした地域密着型の文化業を実施

(仮称)地 域文化振興プランの策定・実施
◇地域文 化の振興に対する区の基本的な方向性を示した基本方 針を策定
◇この方 針に基づき具体的な文化振興事業を展開



地域の方の作品を特別出張所に展示(区民ギャラリー)



大森 海苔 のふるさと館



尾崎士郎記念館

② 地域のふれあいづくり

- ・ 大田区では、参加者が20万人を超える「OTAふれあいフェスタ」や、子どもと地域との交流の場である「子どもガーデンパーティー」に代表される地域交流イベントが数多く存在
- ・ 今後も地域や活動団体、事業者等が主体的に係わる区民のふれあいづくりを積極的に支援

地域で開催された冬まつり



OTAふれあいフェスタ